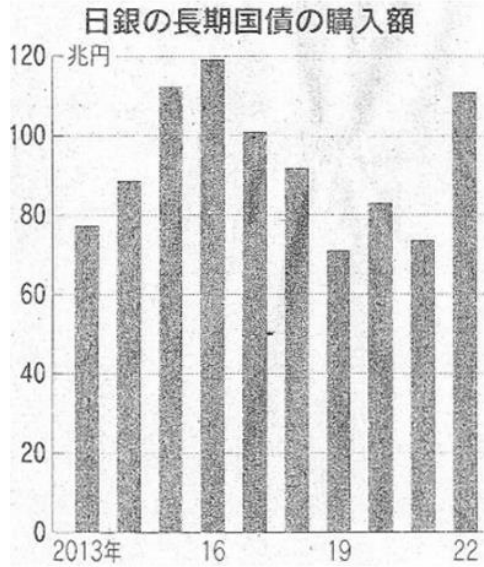
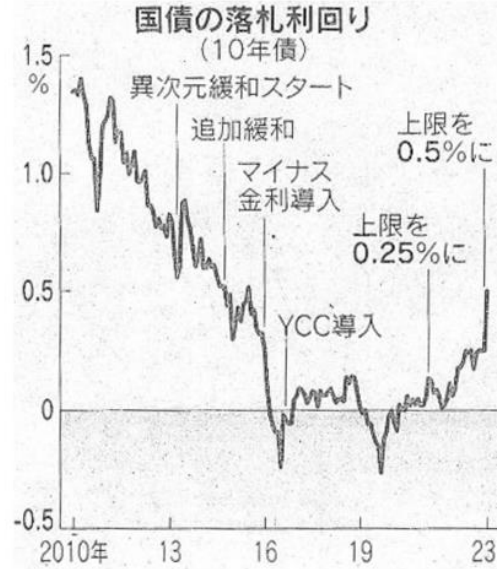


- 01/01・トルコ、対ロ輸出5割増 中立で実利、原油は購入増
・中国景況 低迷続く 12月も「50」割れ 感染拡大が打撃
- 01/04・円上昇一時129円台 7ヶ月ぶり 強まる金利上昇観測 日経平均一時400円安
・アップル時価総額2兆ドル割れ 1年で1兆ドル消失
- 01/05・日銀、国債購入111兆円 22年、6年ぶり高水準 <1>
・アマゾン、1.8万人削減 景気減速懸念で 19年末80万人が154万人に <2>
・FOMC12月要旨 高インフレ「根強い可能性」 早期利下げに慎重
23年の利下げ、1人も想定せず 市場と認識食い違い
・中国、フィリピン誘い込む 首脳会談 習近平氏 経済協力を「列挙」
マルコス氏、米中から実利狙う
- 01/06・10年債落札利回り0.5%、日銀上限に 長期金利に上昇圧力 <3><4><5>
財政負担は拡大 国債、強まる買い手不在 市場機能に危うさ
・インド新車販売初の3位、425万台 昨年、日本抜く 人口・所得増追い風
中国2600万台強 アメリカ1540万台 日本、1999年ピーク777万台から半減
・実質賃金11月3.8%減 8年半ぶり下落率 物価高が影響 <6>
・ロシア、36時間のクリスマス停戦指示 ウクライナは否定的
・米貿易赤字11月15.9%減 3ヶ月ぶりマイナス 世界で需要低迷
・サムスン営業益16%減 前期、半導体不況が悪化
- 01/07・米失業率3.5%に低下 12月、雇用は22.3万人増 深刻な人手不足続く
・ユーロ圏物価9.2%上昇 12月、伸び鈍化 3ヶ月ぶり10%割る
・米、ウクライナ支援4000億円 戦闘車、榴弾砲供与 総額240億ドル以上に
・米、非製造業景況感悪化 12月、2年7ヶ月ぶり50割れ
- 01/08・米下院議長選が決着 共和マッカーシー氏選出 投票15回目
造反保守強硬派(フリーダム・コーカス自由議連)20名に譲歩
- 01/09・日本の生産活動 鈍い回復 コロナ前比6.0%減、米欧は増加 <7>
調達、海外依存に弱さ アジア供給網混乱が影響 成長性が高い製品も乏しく
・「米利上げ、5月までに5.5%」シティ・グループCEO 23年中利下げはない
・企業倒産、3年ぶり前年上回る 昨年民間調査 物価高・人手不足で

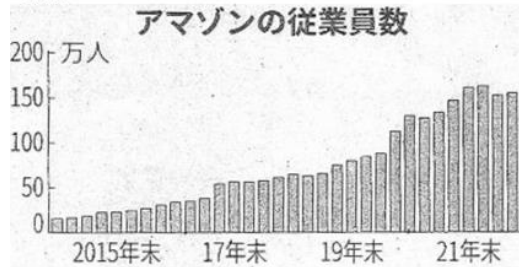
<1>



<5>



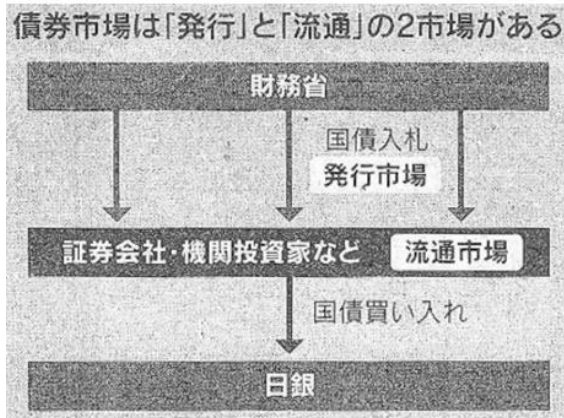
<2>



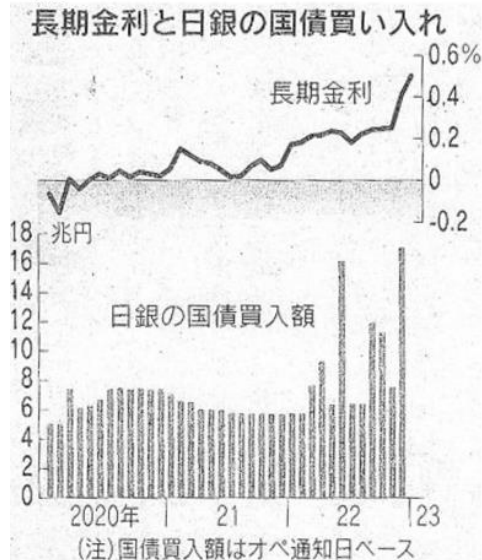
<6>



<3>



<4>



<7>

